

## 松田町第6次総合計画 令和4年度評価に係る推進方法確認シート

令和4年度評価において、評価が『C』以下（令和4年度取組予定に対し、実際の進捗状況が70%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
資料2-1 2ページ	がん検診の実施	C	集団検診において、コロナ禍で受診できない方が一定数あり、受診者数が減少した項目がありました。	年度後半の施設検診への受診勧奨を行い、検診の周知を図ります。
資料2-1 2ページ	未病センターの活用	C	コロナ禍において、事業が中止となったものもあり、コロナ前の利用者数まで伸びていない。	その他の事業等で未病センターを周知するとともに、未病センターを活用した事業の実施を進めます。
資料2-1 2ページ	風しん対策の啓発推進	C	風しん追加的対策について、無料抗体検査事業が延長になったものの、対象者の受検率が18%程度に留まっている。	未受検者に対し、クーポン券の再発行を行い、受検勧奨を行います。
資料2-4 5ページ	合併処理浄化槽整備の推進	C	単独処理浄化槽等の合併処理浄化槽への転換について、工事費用に対する補助を行っているが、工事費用が高額であることなどから、計画値に比べ転換が進んでいない。	広報や回覧による周知の他、対象者への戸別訪問等を継続的に実施し、転換を促進する。
資料2-5 4ページ	生活用水用井戸の確保	D	災害時に井戸をどのように利用するかが課題です。	災害時の井戸を活用した生活用水の運用が必要です。

## 松田町第6次総合計画 令和4年度評価に係る推進方法確認シート

令和4年度評価において、評価が『A』（令和4年度取組予定に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の該当箇所	取組名称	理由
資料2-2 2ページ	松田小学校建設事業	令和元年7月から開始された本事業が、令和5年2月をもって竣工となったため。
資料2-2 3ページ	給食費保護者負担軽減措置補助金	令和4年度は、「給食費保護者負担特別軽減措置補助金」として給食用食材の高騰分10%以内を8カ月分補助することができた。その結果、給食費の値上げをせず、給食の質を落とさず、提供することができた。
資料2-2 4ページ	ジュニアリーダースクールの開催	年間を通じての活動（SDGs学習、伝統芸能伝承教室、防災キャンプ等）を開催し、集団活動のルールや協調を学ばせるとともに、地域の大人や参加者同士のふれ合いを図った。
資料2-3 1ページ	有害獣被害防護柵の維持・管理・整備	過去の調査（平成28年度）時に、『一定規模の修繕が必要』としていた箇所については、令和3年度までに計画的に補修し、完了した。なお、維持管理については継続的に実施していく。
資料2-3 1ページ	有害獣防止柵設置材料費補助制度の活用促進	農協との連携などで利用者の掘り起こしや支援を実現し、着実に利用は広がっている。また、農地保全という観点で補助条件を緩和したことで、さらなる利用の促進も期待される。
資料2-3 1ページ	ハンター育成事業	定期的なハンター塾の開催を契機に、捕獲活動の中核を担う猟友会員（町駆除実施隊員）の増加が見られ、事業の効果が明確に表れている。
資料2-3 6ページ	足柄上地区1市5町と連携した広域的な相談体制の充実	相談体制の整備は確立され、着実に相談をこなしており、相談内容の情報共有も必要に応じて行えているため、目標以上の成果が出ています。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度に18ホール化整備工事が完了しました。
資料2-6 4ページ	収納率の向上と体制の強化	積極的な滞納整理により、目標の収納率を上回ったため

## 事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『D』以下（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、今回評価時までの進捗状況が50%未満）の取組について、その課題・要因、それらに対する対応方法を含めた今後の推進方法について、整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	評価	課題・原因	対応方法・ 今後の推進方法
該当ありません				

## 事業総合評価に係る推進方法確認シート

事業総合評価において、評価が『A』（アクションプログラム期間において目指しているもの・予定している取組内容に対し、進捗状況が「事業完了」「目標以上成果があった」）の取組について、その評価とした理由を整理しています。

資料2の 該当箇所	取組名称	理由
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	令和2年度に18ホール化整備工事が完了しました。
資料2-6 4ページ	収納率の向上と体制の強化	積極的な滞納整理により、目標の収納率を上回ったため
資料2-6 4ページ	斎場事務の広域化	小田原市に事務委託をしながら、構成市町と継続して連携を図っている。また、令和2年3月には、すべての整備が完了して、供用開始となっているため。

## 令和 5 年度事業の方向性に係る推進方法確認シート

「令和 5 年度事業の方向性」の評価において、評価が『C1』『C2』『D1』『D2』『D3』の取組について、その理由について、整理しています。

資料 2 の 該当箇所	取組名称	評価	評価の理由
資料2-1 6ページ	子育て世帯支援事業	C2	現事業はR4年度に限りコロナ対策事業として実施した。R5年度からは子育て応援給付金等の子育て支援事業を実施していく。
資料2-2 1ページ	学校・家庭・地域との連携・協力の推進	C2	「地域と学校の連携・教育の推進にかかる検討」と同内容の事業であるため。
資料2-2 1ページ	町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方検討委員会の設置	D1	令和 4 年度に検討委員会を設置し、今後の方向性について年度末までに結論を出すため。
資料2-2 1ページ	検討委員会による協議	D1	令和 4 年度に検討委員会を設置し、今後の方向性について年度末までに結論を出すため。
資料2-2 2ページ	松田小学校建設事業	D3	令和元年 7 月から開始された本事業が、令和 5 年 2 月をもって竣工となったため。
資料2-3 6ページ	広域的な観光宣伝事業	C1	令和5年度以降、あしがらローカルブランディングについては、民間事業者に事業を完全移行し事業を統合するため。
資料2-4 3ページ	駅前からの交通案内等の充実	D3	東京オリンピックパラリンピックを見据えたインバウンドの受入環境の整備として、旧県西地域活性化プロジェクトの事業として実施していたため。
資料2-5 3ページ	18ホール化に向けての調査・研究	D3	令和 2 年度に予定通り工事が完了したため。

資料2-5 4ページ	耐震性貯水槽の整備	C1	松田中学校及び町役場の耐震性貯水槽の機能を発揮するために、緊急遮断弁の点検など点検を実施します。
資料2-6 3ページ	庁用車の更新	D3	検討した結果、リース契約としたため。
資料2-6 4ページ	使用料等の見直しの検討	C2	「公共施設の計画的な管理」と統合することで、事業全体を把握することができ、施設管理及び管理に必要な財源の確保について、一体的に示すことができるため。
資料2-6 4ページ	斎場事務の広域化	D3	小田原市に事務委託をしながら、構成市町と継続して連携を図っている。また、令和2年3月には、すべての整備が完了して、供用開始となっているため。

### 【参考】各評価の区分

事業の方向性区分	
A 重点化・拡大して継続	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない
	2 見直しには法令等の改正が必要
	3 見直しの必要性はあるが次期尚早
C 見直して継続	1 見直し・縮小
	2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止・完了	1 休止
	2 廃止
	3 完了